

フリーマーケットシステム

自動オークションプログラム

For Version 2

取扱説明書

このシステムは、インターネット上で手軽にフリーマーケットを開催できるように支援するソフトウェアです。WWW上で出品と入札が出来、指定した時間の経過後、その時点で最高額の入札者に落札され、その時点で出品者と落札者がお互いの連絡先を見ることができるようになっています。

新バージョン(Vers.2)の特徴

- ・ Vers1 と比較して、運営ポリシーが大きく変わっております。
- ・ 新バージョンでは、この場を売買希望者の出会いの場として考え、出会い後(落札)は本人同士での交渉に任せるものとします。
- ・ 従って、必要最低限の個人情報を扱うように変更されました。
- ・ 落札された出品画面はそのまま残すようにし、管理者の意志(保存容量の関係など)で削除されるものとします。
- ・ 競争入札以外に、希望した金額で売りたい場合に、即決できる希望落札価格制度を導入しました。
- ・ 自動入札単位制を導入し、任意の金額で入札できたことによる誤入力を防止するため、また、不用意に価格が引き上げられないように、最低落札価格から自動算出した金額を入札単位額とします。
- ・ 入札時に不用意な掲載(他の競争入札者を脅迫するような発言などをニックネーム欄に書き込むなど)を防止するために、入札履歴には入札番号と入札額などの事務的な情報しか表示されないようにしました。
- ・ 出品者の連絡先などが分からない場合に、入札に参加するための情報を得られない場合が多くなるので、当システムを介して質疑応答ができるようにしました。ただし、上記のようなトラブルを避けるために、出品者が回答しなければ質問も表示されません。
- ・ 不用意な出品を防止するために、出品画面を操作(削除や開示や再出品)をするための入札管理に必要なパスワードは当システム側で決定し、それを出品者宛てに電子メールでお知らせすることにより、不明なメールアドレスではパスワードを受け取れないようにしました。
- ・ 入札終了後には、落札かそうでないかを出品者宛てに電子メールでお知らせする機能を

設けました。出品者はパスワードにより、落札者のメールアドレスなどの連絡先を見ることができます。落札者は出品者からの連絡が来るまで待つこととなります。

- ・また、落札者にも電子メールで落札者であることを電子メールしますが、出品者の連絡先はどこにも掲載されませんので、出品者からの連絡を待つこととなります。出品者はこのときに自動で送信される電子メールに入れるメッセージをあらかじめ登録しておくことができます。
- ・落札されない出品が再出品されるかどうかを主管理人が判断(削除してもいいのかどうかを検討する目的など)するために、落札なき入札終了後にそのまま再出品できる期間を設けました。
- ・落札後についても、出品者が落札者の連絡先を見に来た(開示と呼ぶ)かどうか、また、開示してから一定の期間を過ぎているかどうかを主管理者に表示することにより、出品データ削除の判断をやりやすいようにしました。
- ・主管理者(オークション・フリーマーケット主催者)がメンテナンスしやすいよう、専用のプログラムを用意しました。これにより、オークションの状況が一覧でき、出品者の Eメールの変更などの書き換え操作も容易になります。

注意

ここで言う「フリーマーケット」とは、個人が自分のものを売買する目的で参加するところであり、ご存知のオークシヨンの形式であって、売買を商用として行うオークシヨンではありません。auction.cgi という名称のファイルがありますが、これは単なる名称です。フリーマーケットにおいて、その交渉・取引には主催者は関与できませんし、その出品や取引において手数料をとることはできません。関与(仲介)にあたり収入を得たり、中古品売買を目的とするなどの場合は、古物商としての許可を受ける必要があります。なお、画面上にバナー広告を入れて間接的に運営費用を捻出するなどの行為はその必要はありません。

警視庁ホームページ

<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/>

各種手続き 「古物商」許可申請手続

<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/tetuzuki/kobutu/kobutu.htm>

実際の手続きはあなたの住む場所を管轄する最寄の警察署の防犯課や生活安全課などの窓口です。

古物商許可とは、盗品売買等を未然に防止する等の目的で法律で定められているものであり、資格ではありません。現在、電子取引における法的な整備が整っていませんので、厳密には判例もなく、インターネット上で行われる電子取引(オークシヨンなど)にはこの法律が適用されるとは言えないそうですが、通達またはお願いというレベルにおいて、また、

今後法的に整備されるとして、フリーマーケットではない中古品売買を行う場合は、できるだけ売る側と買う側の身分証明を記録しておくことが求められていますので、Web裏技では、このプログラムの使用にあたり、取引相手の所在や身分証明などを、例えば遠方であれば、官発行の証明書(運転免許証など)のコピーをFAXでもらうとか、加入電話番号の確認するなどの方法で取引記録を取ることに、できるだけ努力を行うという条件を提示させていただきます。なお、この注意事項は、平成12年年頭に警視庁に問い合わせ得た情報であり、その後法改正などで対応されれば、その法律に従ってください。詳しくは、最寄の警察署にお問い合わせください。

設置構成

<>内はパーミッションの参考値です。

```
|-- data/ <777>    1 ... 出品データを管理するディレクトリ
|   |-- .htaccess <644> このディレクトリに WWW アクセスできないようにする設定
|
|-- logs/ <777>    1 ... 各種ログを記録するディレクトリ
|   |-- .htaccess <644> このディレクトリに WWW アクセスできないようにする設定
|
|-- htdocs/ <755>    2
|   |-- photo.gif <644> ... 写真ありマーク画像
|
|-- tmp/ <777>    2 ... 作業用テンポラリーディレクトリ
|
|-- admin.cgi <755> ... 管理者用メンテナンスプログラム(*)
|-- auction.cgi <755> ... 出品一覧を表示するプログラム(入り口) (*)
|-- cgi-lib217.pl <644> ... CGI ライブラリ
|-- edit.cgi <755> ... 管理者用出品データ編集プログラム
|-- image.cgi <755> ... 出品画像を表示するプログラム
|-- jcode.pl <644> ... 日本語コード変換ライブラリ
|-- kitei.txt <644> ... 利用規定を書いておくテキストファイル
|-- redirect.cgi <755> ... 出品画面を案内するプログラム
|-- regist.cgi <755> ... 出品登録プログラム
|-- setup.cgi <644> ... 初期設定および共通ルーチン
|-- tender.cgi <755> ... 出品画面および入札落札処理プログラム
```

(*)印は直接アクセスできるプログラムです。その他は、(*)印のプログラムから呼び出されるか、リンクされるものです。

1 (安全に関わる大切な情報です) data/と/logs/ディレクトリは、WWW 上から直接参照(アクセス)できない場所に配置してください。それが可能であれば、以下は読む必要はありません。そのような配置ができない場合は、添付の .htaccess を使って、すべての人から data/ディレクトリへのアクセスを制限してください。なお.htaccess は、Apache や NCSA-HTTPd などのサーバ用の設定ファイルであり、その他の Web サーバの場合は、そのサーバに合わせて、アクセスを拒否する設定を調べて設定してください。 .htaccess というファイルを設置禁止しているサーバもあり、この設定が有効になっているかどうか、次のように実験して確認してください。または、.htaccess を使わなくても、CGI がオーナーの権限で実行できるようになっているようなサーバ(例えば、適当な CGI を設置して、パーミッションが 700 でも実行できる環境を持つサーバ)であれば、data/ディレクトリを 700 にすることで、CGI 内からは処理できるが、画面からは直接その場所のファイルにアクセスできないようにすることもできます。詳しくはご利用のサーバの管理者にお尋ねください。

- 1.data/ディレクトリ内に適当な画像(sample.gif)を置いてみる。
- 2.その場所が例えば <http://192.168.0.1/~rescue/freemarket/data/sample.gif> だった場合、それをブラウザ上で表示してみる。
- 3.もし、その画像が表示されてしまった場合は、.htaccess の制限が効いていません。効いていれば、data/内にどんなファイルを置いても表示できないはずです。

2 htdocs/と tmp/ディレクトリはWWW上で直接参照(アクセス)されますので、CGI 専用ディレクトリ内には配置できません。HTML(画像を含む)と CGI が別々の場所に配置しなければならないサーバではご注意ください。

(安全に関わる大切な情報です) 同じサーバを共用して使っている場合が多いと思います。FTP で接続し、リンクを辿りながら別の人の場所に入れることはできませんか？または、ご利用のサーバでは Telnet が使えますか？その場合、上記のようにブラウザ上からのアクセスを制限しても、FTP や Telnet 経由でサーバ内部からあなたの場所に入って data/ディレクトリ内に入って中身を見られる可能性があります。それを防止するために、data/ディレクトリのパーミッションを 707 にしても動作する環境であれば、そうしてください。それでも完璧とは言えませんが、少なくとも不用意な情報漏洩を最小限に留める努力をすることができます。一番いいのは、自分専用のサーバ、または、Telnet 禁止で、FTP で他の

人の場所に行けないような設定がしているサーバを選ぶのがいいでしょう。ご運用には、あなたのサーバ環境を考慮し、個人情報管理に対するあなたの考え方をどこかに記載し、それを承知した上で参加してもらえるようにしてください。

(安全に関わる大切な情報です) 初期設定で設定する主管理用パスワードや、出品者に案内するパスワード(データディレクトリの各出品ディレクトリの中の index.cgi に記録されている)は暗号化していません。これは、パスワードを忘れた等で問い合わせに応じることができるようにするためです。従って、WWW からサーバ内部からも、これらのファイルやディレクトリにアクセスできないように十分注意して配置やパーミッション設定してください。なお、CGI プログラムでないファイルの拡張子も.cgi にしているのは、WWW から直接アクセスされたときに、そのファイルの中身を表示してしまわないように、CGI プログラムを装うための措置(苦肉の策!?)です。混同しないように注意してください。

初期設定

まず、kitei.txt に、利用規定を決めて記載してください。このシステムをあなた個人が売り手として個人売買するだけであれば、入札者へ案内する約束事を記述すればいいでしょう。また、フリーマーケットを主催する場合は、さらに出品者への規約と主催者(以下、主管理者と呼びます)の連絡先なども書いてください。

setup.cgi が全体の初期設定ファイルです。説明に従って設定してください。パスとURL を誤解しないようにしてください。ここで言うパスとは、サーバ内の位置関係を示すパスを指し、URL とはWWW上のアドレスである仮想パスを指します。

使い方

入り口は auction.cgi にリンク、アクセスします。あとはすべて画面上に各CGIプログラムにリンクされています。特に使い方を覚えるまでもなく、出品したければ出品リンクを、商品の内容を見たり入札したければ、出品番号のリンクをクリックします。

出品や入札には、連絡先などの個人情報を記入します。所定の入札期間を過ぎ、1人でも入札者がいれば落札者が決定し、出品者と落札者がお互いの連絡先を見ることができるようになります。それにはパスワードが必要ですので、忘れないようにしてください。なお、設定した主管理者用パスワードは、出品者のパスワードの代りとして機能します。主管理

者としてアクセスするのと、出品者が自分のパスワードでアクセスするのでは、立場が異なることとなりますので、機能の違いがあります。

最初の画面では、入札待ち商品の一覧となります。一覧は、入札時間の少ない順に並びます。入札待ち途中で出品を削除することができます。所定の期間が終了した商品については、落札情報のリンクをクリックします。入札が1件もない商品については、出品時と同じ条件で再出品(ただし入札終了後1週間以内)することができます。落札者がいる場合は、パスワードを入力することにより、出品者は落札者の連絡先を入手することができます。

入札者なしの商品は出品者が削除することが原則ですが、いつまでも残っている場合には、管理者の権限でメンテナンス(削除)してください。また、落札商品については、出品者が連絡先を閲覧(開示)したかどうか記録されますので、適当な時期にメンテナンスしてください。(admin.cgiを直接実行する。) 管理者のパスワードで画面にアクセスしても、開示記録はされません。出品者のパスワードを使ってアクセスすると、出品者がアクセスしたことになり、開示された記録が残ることになりますのでご注意ください。開示済みになって1週間(admin.cgiの冒頭で設定変更できる)経過したものにはチェックがあらかじめ入りませんが、削除するかどうかは管理者が決めてください。削除してしまうと、入札履歴やFAQや落札者情報などが完全に削除され、その分の容量が空くことになります。(出品情報はログに残っています。)

出品/再出品記録は、logs/log.cgiに蓄積記録されていますので、適宜メンテナンスしてください。入札記録は、data/出品番号.識別フラグ/tender.cgiにCSV形式で記録されており、一番後ろに記録されている入札者が最高額入札者です。落札者は、stop.cgiに記録され、このファイルがあればそのオークションは終了していることになります。

tmp/内には、処理途中で残された画像ファイルや、2重送信防止用のファイルが記録されていますが、適当に削除されます。もしいつまでも削除されないファイルがあれば、ファイル名が作成された日付や秒数で構成されていますので、数日経過しているものを判断して、直接削除しても構いません。

このシステムはシェアウエアです。試用・動作確認をした後で、ご利用される場合は所定の手続きで登録を行ってください。登録後にはシェアウエア登録コードが発行されますので、それをsetup.cgiの所定の位置に設定してご利用ください。

エラー番号一覧

001 落札ファイル(stop.cgi)が存在していないのに入札終了を示している。

必要なければ当該出品を削除するか、当該データディレクトリ内に空の stop.cgi<666>を置いて再出品処理を行う。

002 出品ディレクトリ内に落札ファイル(stop.cgi)を記録できない。致命的なエラー。

003 入札フラグ(出品ディレクトリ名の拡張子)を変更できない。致命的なエラー。

004 入札中の状態なのに期限切れを示している。

必要なければ当該出品を削除するか、入札フラグを 1 から 0 に変更して修復を試みるか、それでも解決しない場合は一旦削除して新たに出品する。

005 ディレクトリ一覧の取得ができない。致命的なエラー。

006 データディレクトリ内の出品ディレクトリに落札ファイル(stop.cgi)を記録できない。致命的なエラー。

007 入札フラグ(出品ディレクトリ名の拡張子)を変更できない。致命的なエラー。

008 入札中の状態なのに期限切れを示している。

必要なければ当該出品を削除するか、入札フラグを 1 から 0 に変更して修復を試みるか、それでも解決しない場合は一旦削除して新たに出品する。

009 データディレクトリ内の一時ディレクトリが削除できない。致命的なエラー。

010 送信されたファイルは画像であることを確認できない。Content-Type に文字列 image を認識できない。

011 送信されたファイルは画像であることを確認できない。Content-Type が取得できない。

012 作業ディレクトリに記録できない。作業ディレクトリが存在しないか、設定した場所がないか、パーミッションが不正である。

013 出品登録ボタンを 2 回以上押した可能性がある。出品されているかどうか確認する。

014 データディレクトリ内に新規ディレクトリを作成できない。データディレクトリが存在しないか、設定した場所がないか、パーミッションが不正である。

015 データディレクトリ内の出品ディレクトリに出品ファイル(index.cgi)を記録できない。致命的なエラー。

016 入札フラグ(データディレクトリ名の拡張子)を変更できない。致命的なエラー。

017 ログが記録できない。設定した場所がないか、パーミッションが不正である。

018 入札履歴ファイルを読み出せない。致命的なエラー。

019 期限切れ落札処理をしようとしたが、入札フラグ(出品ディレクトリ名の拡張子)を変更できない。致命的なエラー。

020 出品ディレクトリ内に落札ファイル(stop.cgi)を記録できない。致命的なエラー。

021 出品ディレクトリ内に入札終了を示す要因の一つである落札ファイル(stop.cgi)が存在するのに、入札フラグが入札中を示している。

入札フラグを 1 から 0 に変更して修復を試みるか、それでも解決しない場合は一旦削

除して新たに出品する。

022 規定ファイルが存在しないか、設定した場所がないか、パーミッションが不正である。

023 出品ディレクトリ内に入札終了を示す要因の一つである落札ファイル(stop.cgi)が存在するのに、入札フラグが入札中を示している。

入札フラグを 1 から 0 に変更して修復を試みるか、それでも解決しない場合は一旦削除して新たに出品する。

024 入札履歴ファイルに記録できない。

025 入札フラグ(データディレクトリ名の拡張子)を変更できない。致命的なエラー。

026 出品ディレクトリ内に落札ファイル(stop.cgi)を記録できない。致命的なエラー。

027 出品ディレクトリを削除できない。出品ディレクトリ内に削除できないファイルが残っている可能性がある。手動で削除を試みる。

028 出品ディレクトリ名の変更ができない。致命的なエラー。

029 入札単位計算に失敗した。

030 ログが記録できない。設定した場所がないか、パーミッションが不正である。

031 落札者の照会データに異常がある。

032 ログが記録できない。設定した場所がないか、パーミッションが不正である。

技術資料

データディレクトリ内には出品番号が付いたディレクトリが作成され、その中に各種データファイルが作成されます。出品番号は入札終了時の時刻(1970年からの秒数・現在の秒数は admin.cgi を実行した画面の最下部右下に表示される数字がそれ)になっています。また、ディレクトリについている 0 とか 1 という数字は、1 が入札中、0 が入札終了したことを意味します。さらに、stop.cgi の有無でも入札中か否かをチェックします。tender.cgi には入札履歴が記録され、入札した順に記録されていきます。従って、最後の行の記録が落札者となり、stop.cgi に転記されます。よって 2 重チェックとして、この 2 つの入札番号が一致しなければデータ異常として ERROR(031)となって、表示を控えるようになっています。これらの情報を元に直接ディレクトリ名をいじったり、各ファイルを操作したりすることは、動作不良の原因になりますので、十分にシステムをプログラム単位で熟知した方でない場合は避けてください。なお、プログラムの改造や、初期設定でできる範囲以外の設定の変更や、データを直接いじった場合のトラブルについては、一切の対応ができませんのでご了承ください。

このシステムは時間処理(time は 1970 年からの秒数を返す)を扱っているため、ほとんどのマシンでは、2038 年 1 月 1 日以降に異常が生じる可能性があります。去る Y2K 同様、こ

の時期に何らかの対応が発表されない限り、このシステムは原則的に、time が返す整数の限界を迎えるこの日までしか使えません。なお、これに関する対応が分かった時点で当方が何らかの対応策を施さなければならない義務を負いません。(当サイトのプログラム利用規定の通り。)(そのときにもし私が生きていて頭が働いていれば対応するでしょう。)

シェアウェア登録について

設置する前にシェアウェア登録(送金)する方がたまにいらっしゃいますが、必ず試用後にお願います。市販のソフトウェアと異なり、使って試せるシステムです。その上で、ご利用するに至れば、シェアウェア登録をお願いします。

シェアウェアとは

http://www.rescue.ne.jp/cgi-rescue/cgi?kitei_Shareware

シェアウェア登録の手引き

<http://www.rescue.ne.jp/info/regist.html>

その他

このシステムを御社(貴方)自身でご利用になるのではなく、第三者に貸与(設置されたシステム自体を第三者に利用させる行為)する行為には、事業者登録が必要です。事業者登録については、当サイトまでお問い合わせください。

© 2000 rescue.ne.jp

<http://www.rescue.ne.jp/>